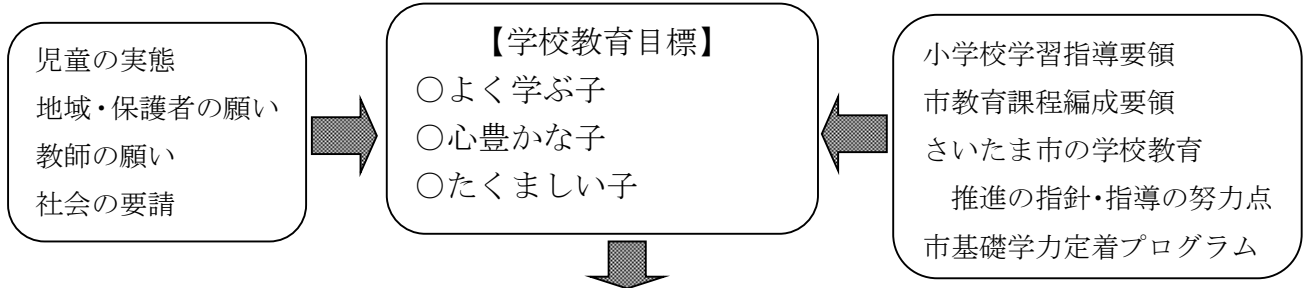


研究の構想



思いや考えを深め、豊かに伝え合う児童の育成

～言語活動を生かした算数指導の工夫改善～

目指す児童像

- 自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる子
- 伝え合いを通して、自分の考えを深めることができる子

付けたい力

低学年	中学年	高学年
○具体物、半具体物、図などを用いて、自分の考えを表現する。	○言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて、自分の考えを表現する。	○言葉、数、式、図、表、グラフなどを用い、算数用語も取り入れながら、自分の考えを表現する。
○相手に分かるように自分の考えを説明する。	○筋道立てて自分の考えを説明する。	○根拠を明らかにし、筋道を立てて自分の考えを説明する。
○話し合いを通して、自分の考えと友達のを比べる。	○伝え合いを通して、友達のと自分の考えを比較し、よさに気付く。	○伝え合いを通して、友達のと自分の考えを比較し、よさに気づき、よりよい方法が分かる。

【視点と手立て】

視点1：自分の考えをもてるようにするための指導の工夫

《手立て1：導入や発問の工夫》

- ・問題解決的な学習の設定
- ・見通しを立てることを大切にした授業展開

《手立て2：主体的に自力解決するための教材・教具の工夫》

- ・デジタル教材

《手立て3：個に応じた支援》

- ・段階的なヒントカードの活用
- ・ヒントコーナーの工夫
- ・アンサーチェッカーの活用

視点2：言語活動を通して「思考力」を育てるための指導の工夫

《手立て4：算数的な表現力を高めるための伝え合う活動の工夫》

- ・効果的な人数の設定（ペア・3人組・グループ）
- ・児童の考えを引き出す練り上げ
- ・分かりやすく伝えるための言葉・順序の提示
- ・伝え合いにおける明確な視点の提示（話し手・聞き手）

《手立て5：自分の考えを分かりやすく説明するための工夫》

- ・具体物を用いた説明
- ・言葉を用いた説明
- ・数や式を用いた説明
- ・図・表・グラフを用いた説明

視点3：思考力・表現力を支える基礎学力向上のための指導の工夫

《手立て6：朝学習の取組》

- ・基礎学力プログラムの活用

《手立て7：計算カードの活用》

- ・計算ドリル記録カード

《手立て8：教室、廊下の掲示の取組》

- ・「算数の学習の流れ」の掲示
- ・ペア活動の流れの掲示
- ・既習事項の掲示